

RapidRide K Line における地域社会の関 与に関する要約報告書



計画フェーズ： 2024年夏（6月27日～7月24日）



要旨

RAPIDRIDE



最終更新日：2024年11月4日

要旨

プロジェクトの概要

King County Metro (Metro) はEast King Countyに新しいRapidRideサービスを届け、KirklandやBellevue内の地域により快適で信頼性の高いバス運行サービスを提供するために尽力しています。Metroでは2030年までに、KirklandのTotem Lake Transit CenterやKirklandとBellevueのダウンタウン、BellevueのEastgate Park & Rideの区間の急成長を遂げている地域社会にRapidRide K Lineを展開する予定です。この16マイルの路線はRoute 239、250、271、RapidRide B Line、Sound Transitが展開予定のI-405 Bus Rapid TransitとLink Light Railをつなぎます。

この報告書はRapidRide K Lineの概念設計計画を最終化するために、イーストサイドの地域社会と連携するMetroの取り組みをまとめたものです。

地域社会の関与のアプローチ

Metroはプロジェクトのライフサイクルを通じて取り組むことにコミットしており、地域社会からの意見はニーズ評価や計画フェーズで重要な役割を担っています。

下図は、初期計画から運行開始までのプロジェクトのタイムラインを示しています。



第2フェーズでは、プロジェクトを地域社会に再度紹介し、地域の優先事項とMetroが地元の機関と提携して開発したRapidRide K Lineの設計計画に関するフィードバックを収集し、プロジェクトと機関の目標を伝えていきます。地域社会の関与活動は下図に示すように、対面による関与、オンラインアンケート、バーチャル会議、地域社会パートナーとのブリーフィングが含まれます。



結果概要

オンラインアンケート

Metroは地域における移動と交通機関の利用について詳しく理解するためにオンラインアンケートを実施し、提案した停留所の場所、アクセスの改善、スピードや信頼性の改善について地域社会からのフィードバックを収集しました。アンケートは2024年6月27日から7月24日までの期間、英語、中国語（簡体字と繁体字）、日本語、韓国語、スペイン語、ベトナム語で実施しました。

プロジェクト地域と広範に及ぶ地域の多様性を広く代表する1,003人から回答が得られました。アンケートのデータから次の重要な結果が得られました。

プロジェクトの認識



回答者のほとんどが**RapidRide K Line**プロジェクトについてあまり知っておらず、約半数（47%）が今回初めて耳にしたと回答しました。それに比べて13%はなんとなく知っていたと回答し、良く知っていたと回答したのはわずか7%でした。

移動パターン



最も使われる移動手段は車で、回答者の72%が利用し、次いで公共交通機関の利用者は68%でした。約半数（47%）が徒歩か自転車等を利用していました。

公共交通機関を利用する回答者の多くは利用頻度が高く、65%は少なくとも1週間に1回、32%は1週間に4~5回以上利用していました。

地域社会における優先事項



以下を含め、スピードと信頼性が改善されることで、多くの回答者はより頻繁に公共交通機関を利用すると回答していました。

- スピードの改善（69%）
- より頻度の高い運行（68%）
- 乗り換えの少ない路線（61%）
- 信頼性の改善（57%）

相対して、**快適性と交通機関へのアクセスが改善されることで公共交通機関の利用を促す可能性は低かったです。**

交通機関へのアクセス ： 徒歩や車椅子等



徒歩や車椅子等でRapidRide K Line路線付近の交通機関にアクセスする際の**最も一般的な問題**には次が含まれます。

- 交通量、騒音、公害が多い（34%）
- 専用の横断地点や横断歩道がない（30%）
- 通路や歩道が狭い（25%）

交通機関へのアクセス ： 自転車や電動キックボード



自転車、電動キックボード、その他の移動装置でRapidRide K Line路線付近の交通機関にアクセスする際の**最も一般的な問題**には次が含まれます。

- バス停に安全に到着できる自転車専用通路、レーン、その他のインフラが乏しい（33%）
- バス停の駐輪場が制限されているか、存在しない（25%）
- バスを待つ間に自転車や電動キックボードを安全に格納したり、施錠するのが困難（21%）

停留所の場所

ほとんどの回答者が提案した停留所の場所に満足していました。



- 71%は提案した停留所の場所によって、行く必要のある場所に行きやすくなることに同意しました。
- 61%は職場などに行きやすくなることに同意しました。

対面による関与

プロジェクトスタッフはKirklandとBellevueで開催した出展イベントやバス停やトランジットセンター、RapidRide K Lineの予定路線で行ったストリートチームによるアウトリーチ活動で約650人と対面しました。Metroはスーパーや図書館、KirklandとBellevueのファーマーズマーケットで9つの出展イベントを開催しました。またプロジェクトチームは、バス停とK Line路線のトランジットセンターでストリートチームによるアウトリーチ活動を2回開催し、プロジェクトの情報を中国語（簡体字と繁体字）、日本語、韓国語、スペイン語、ベトナム語で提供しました。すべてのイベントでバス利用者にオンラインアンケートやバーチャルミーティングへの参加、最新情報メールを受信するためのプロジェクトウェブサイトでの登録を促しました。



バーチャルミーティング

Metroは7月17日と20日に地域社会向けのZoomミーティングを開催しました。バーチャルミーティングには17名の地元住民が参加し、RapidRide K Lineの詳細についての説明を受け、質疑応答の時間がありました。

両方のミーティングで、King County MetroはRapidRide K Lineのプレゼンテーションを行い、プロジェクトの歴史、概要、過去の取り組み、Metroが引き続き、どのように地域社会に関与していくかについて説明しました。またMetroは次のステップの概要と、地域が求める代替案でフィードバックがどのように利用されるか説明しました。Metroはプレゼンテーションの後に質疑応答を行いました。両方のバーチャルミーティングではスペイン語とポルトガル語の通訳が同席しました。

地域の連絡調整者サービス

Metroは大規模なアウトリーチ活動を通じて、プロジェクトエリア内の地域社会パートナーにRapidRide K Lineプロジェクトを再び紹介しました。プロジェクトチームは地域社会に根付いている組織、ビジネス、近隣住民グループを対象に電話とメールによるアウトリーチ活動を4回行いました。これには、多言語によるファクトシートの配布、バーチャルミーティングの手配、ブリーフィングの提供が含まれており、広範囲におよぶ認知と関与を促しました。

2023年秋に開始したMetroのCommunity Liaison Program（地域の連絡調整者プログラム）はこのプロセスで極めて重要な役割を担いました。このプログラムはMetroの戦略計画の取り組み目標に整合しており、低所得者層、言語的に多様な人々、有色人種コミュニティ、障がい者、移民、難民など、歴史的に過小評価されている地域社会とのつながりに経験と専門知識を持つスタッフを採用しています。地域の連絡調整者は文化的に特化し、公平な交流を通じて信頼を築くことと、コミュニケーションの促進に重点を置きました。多文化企業や中小企業、地域社会の集会場所、礼拝所でRapidRide K Lineに関する最新情報を提供し、フィードバックを得て、オンラインアンケートへの参加を促しました。



その他のメールおよびソーシャルメディアでのコメント

MetroはRapidRideプロジェクトのメールとソーシャルメディアを通じて58件のコメントを受け取りました。

主なテーマと質問

以下は取り組み活動を通じて得た一般的な質問とコメントの概要をトピック別にまとめたものです。

プロジェクトについて

- プロジェクトの流れを教えてください。
- RapidRideはLight Rail（1および2）やその他の路線に地図上でどのようにつながりますか？
- 停留所の場所はどこですか？
- RapidRideはどのようにSeattle市、特にDowntown SeattleとSeaTac空港にどのようにつながりますか？
- RapidRide K Lineは自分の使うルートで乗り換えの回数にどのように影響しますか？
- RapidRideによってこのバス停に停車するバス路線は変わりますか？
- 完全な路線と主要目的地間の予想移動時間はどのくらいですか？
- Metroはどのようにして路線とバス停の場所を決めたのですか？
- Metroは別の資本改善を確定する前に路線を最初に特定するのですか？

資金調達とプロジェクトのコスト

- RapidRide K Lineの合計コストを教えてください。
- プロジェクトの運用予算はありますか？
- このプロジェクトは大幅に遅れていました。予算がさらに不足する場合、Metroは遅らせるプロ

ジェクトの優先順位をどのように決めるのですか？

スピードと信頼性

- RapidRide K Lineのバスはどの程度の頻度で到着しますか？
- Metroは路線全体に専用バスレーンを作るのですか？
- 既存のMetroバス路線に対して同様のスピード/信頼性改善のプロセスは設けていますか？
- Metroではどのように交通量を分析し、駐車への影響を考慮していますか？
- 主な目的地までの迅速な運行と専用バスレーンへの関心。

システムの拡大

- RapidRide、Metroバス、Light Railの違いは何ですか？
- I-405のStride BRTとは何ですか？RapidRideと何が違うのですか？
- Light Rail 2 LineはいつSeattleに到達しますか？
- RapidRide K LineはRoute 255にどのような影響がありますか？
- RapidRide K LineはRapidRide B Lineなどの他のバスにどのようにつながりますか？

支払オプション

- ORCAカードはすべての交通機関（Metroバス、RapidRide、Light Rail）で使えますか？
- 新しいORCAパスはどのように機能しますか？
- シニア割引ORCAカードはどこで購入できますか？
- 運賃の支払いにクレジットカードは使えますか？
- RapidRideの運賃は他のMetroバスと違いますか？
- 子供は無料で乗車できますか？
-

次のステップ地域社会からのフィードバックがプロジェクト開発に与える影響

Metroは地域社会からの意見をまとめ、地域が求める代替案（LPA）を作成します。これは2025年初頭に予定されているフェーズ3の地域社会の関与で提示されます。

フェーズ3の期間、MetroはRapidRide K Line路線と停留所の場所の情報などのLPAの要素を一般大衆とその他の利害関係者グループに提示します。交通機関への推奨アクセスに関するプロジェクト（歩道、自転車専用レーンなど）やスピード/信頼性に関するプロジェクトについての追加情報も共有されます。

過去の2つのフェーズで提供された地域社会からのフィードバックにより、RapidRide K Lineの関与活動を計画したり、設計を進めることができるようになります。例えばフェーズ2のアンケート回答者は、より速く、より頻繁に運行して、信頼性の高いバスが交通機関利用のきっかけになると指摘しています。Metroはフェーズ3で追加情報を準備し、プロジェクトの利点、コスト、実装による影響に焦点を置いた、スピードと信頼性に関するさまざまな対策について、詳しく説明する予定です。地域社会からのフィードバックはプロジェクトの決定にも影響します。例えばアンケート回答者の49%は110th Avenueを通るDowntown Bellevueの経路を好んでおり、108th Avenueを通る経路を好む回答（23%）を上回っています。Metroは110th Avenueに沿って停留所を配置することの実現可能性、コスト、影響の可能性について調査します。

LPAは計画フェーズの最終ステップで、この段階で完了している調査と作業がまとめられています。

「設計フェーズ」と呼ばれる次のフェーズでは、さらなる開発のための主要な要素とプロジェクトが特定されます。地域社会からの意見が収集された後、LPAにはKing County協議会の地域が求める代替案の推奨事項が記載され、2025年半ばに協議および実施されるようになります。このマイルストーンでRapidRide K Lineの路線と停留所の場所が確定します。Metroは設計フェーズでバスへの簡単なアクセ

スト、より速く、信頼性の高い運行を実現するためのプロジェクトを引き続き評価します。
またLPAの採用により、Metroは建設に向けた連邦資金の要請を開始できます。